

己 おのれ

己

③

おのれ

己

コ・キ

6041 己

おのれ 己かに勝つ

じこ 自己・他人たにん

ちき 知己

こっき 克己しん心

6042

呼

くちへん

呼

⑧

よ (き)

呼

フ

よぶ 呼ぶ
 よばない 呼ばない
 よんだ 呼んだ

よびます 呼びます
 よびません 呼びません
 よびました 呼びました

よびもどす 呼び戻す
 よびかえす 呼び返す

よびりん 呼び鈴

こおう ~に呼応^{する}
 こき 呼気・呼吸^{こきゅう}
 こきゅう 呼吸^{する}

かんこ 歡呼^{こえ}の声
 てんこ ^{あさ}朝の点呼

誤 (誤) 誤

誤

⑭

あやま (る)

誤

コ

あやまる 誤る = ^{まちが}間違う
あやまらない 誤らない

あやまり 誤り ^{ただ}を正す

ごき 誤記 ^{ていせい}の訂正

ごさ 誤差 ^{はんい}の範囲

ごさん 誤算 ^{だった}

ごしょく ^{ほん}本の誤植

ごじ 誤字 ^{だつじ}脱字

ごどく 誤読 ^{する}

ごやく ^{やくぶん}訳文・誤訳

ごよう 誤用

せいご 正誤表 ^{ヒョウ}

6
0
4
4

后

く
ち

后

⑥

后

后

6044 后

こうごう 皇后^{へいか}陛下

孝

孝

⑦

孝

コウ

こうし いえひん 家貧には孝子い出ず
こうしん 孝心・孝子こうし
こうじょ 孝女・孝心こうしん
こうよう 孝養をつくす

ちゅうこう 忠孝みちの道
ふこう おや不孝親

6046

白皇

しろ

白皇

⑨

白皇

コウ・オウ

こうい 皇位をつぐ
こうきょ 皇居・東宮
こうぐう 皇宮警察官
こうごう 皇后陛下
こうじょ 皇女・皇子
こうそん 皇孫・華族
こうぞく 皇族

じょうこう 上皇・天皇

おうじ 皇子・皇女
ほうおう 法皇・上皇・天皇
きんのう 勤皇の志士
てんのう 天皇・皇后

糸 紅 いとへん

糸紅

⑨

へに・くれない

糸紅

コウ・ク

くれない 紅にしやくのの二尺 伸びたる

べに 紅色

べにばな 紅花ゆ

くちべに 口紅をさす

こうがん 紅びしょうねん顏の美少年

こうちゃ 紅茶いを入れる

こうはく 紅白うたがっせん歌合戦

こうよう 紅葉あきの秋

しんく 真紅のバラ

降

ノノノノ

降



お(りる)ふ(る)

降

コウ

ふる あめ雨が降る
 ふらない 降らない
 ふった 降った

おりる でんしゃ電車から降りる
 おりない 降りない
 おりた 降りた

こうう 降雨・降雪こうせつ
 こうか パラシュート降下
 いこう 3月以降はダメ
 かこう 下降・上昇じょうしょう
 しょうこう 昇降機・エレベーターき
 じょうこう 乗降客きゃく

鋼 かねへん

鋼

⑩

はがね

鋼

コウ

六一四

6049 鋼

はがね

鋼なまりと鉛

こうかん

こうせん

にほん日本鋼管

鋼線

せいこう

てっこう

こうべ神戸精鋼

鉄鋼せいさん生産

刻 りつとう

刻

⑧

キリキリ (せ)

刻

コク

きざむ	刻む・刻まない	こくいん	刻印を押す <small>お</small>
きざまない	刻まない	こくげん	刻限までに
きざんだ	刻んだ	いっこく	一刻
		ごこく	後刻・先刻 <small>せんこく</small>
		しんこく	深刻 <small>もんだい</small> な問題
		じこく	時刻・時間 <small>じかん</small>
		すんこく	寸刻をおしんで
		せんこく	先刻ご承知 <small>しょうち</small>
		ちこく	また遅刻 <small>した</small>
		ちょうこく	彫刻 <small>とう</small> 方
		ていこく	定刻 <small>しゅっぱつ</small> に出発する
		ふっこく	復刻 <small>ばん</small> 版
		ゆうこく	夕刻・夕方 <small>ゆうがた</small>

穀

のぎへん

穀

⑭

穀

コク

こくそう 穀倉^{ちたい}地帯

こくもつ 穀物^{せいさん}・生産

こくるい 穀類^{しゅしよく}を主食に

ごこく 五穀^{みの}が実る

ざっこく 雑穀^{しゅこく}・主穀

だっこく 脱穀^き機

べいこく 米穀^{しょう}商

参考 五穀
こめ 米・^{むぎ}麦・^{あわ}粟 } ^{ひえ}稗・
豆 } ^{きび}諸説あり

雑穀
^{だいず}大豆・^{あずき}小豆・えんどう^{まめ}豆・^{ごま}胡麻

骨

ほね

骨

⑩

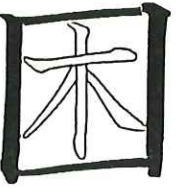
ほね

骨

コツ

ほね 骨^おを折る
 ほねをおる ほねをおる
 ほねぶと 骨^{ひと}太^な人
 ほねみ 骨身^お惜^{しま}ず

こつにく 骨肉^{あらし}の争^い
 いこつ 遺骨^だを抱^{いて}
 きこつ 気骨^あがある
 きんこつ 筋骨^{たく}ましい
 ざこつ 座骨^{しんけい}痛^{つう}
 じんこつ 人骨
 せっこつ 接骨^い医^い
 てっこつ 鉄骨^くを組^む
 なんこつ 軟骨^{こう}・硬骨^{こう}
 のうこつ 墓^{はか}に納骨^すする
 はっこつ 白骨^{はく}となる
 はんこつ 反骨^{せいしん}精^{しん}神^{もの}
 ぶこつ 無骨^む者^{もの}
 こっかく 骨格^{こつかく}ができる
 こっし ~を骨子^{こつし}とする
 こっせつ 手^てを骨折^{こつせつ}する

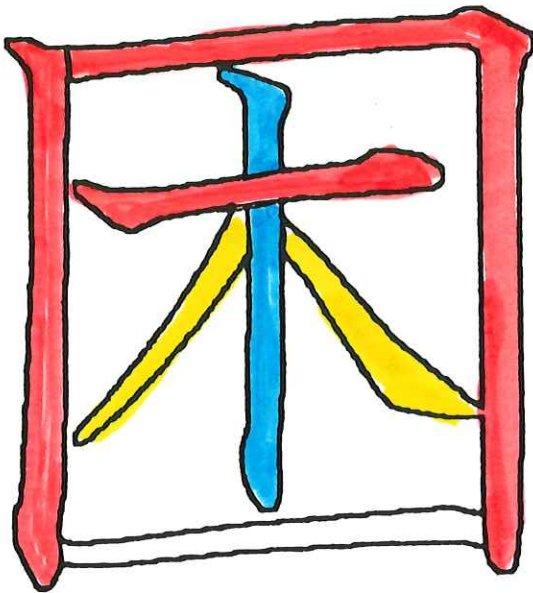


くにかまえ



⑦

こま(る)



コン

こまる 困る

こまらない 困らない

こまった 困った

こまります 困ります

こまりません 困りません

こまりました 困りました

おこまり お困りの様子

こんなん 困難^のを乗り越える^こ

石少

いしへん

石少

⑨

すな

石少

サ・シヤ

すな 砂・土・泥

すなじ 砂地にしみこむ水

すなはま 海岸の砂浜

すなば 砂場で遊ぶ

しらすな 白砂

さがん 砂岩・礫岩

さきゅう 鳥取砂丘

さきん 砂金を取る

さじょう 砂上の楼閣

さてつ 砂鉄を集める

さとう 砂糖水

さぼう 砂防工事

じゃり 砂利をはねとばす

どしゃ 土砂を取り除く

どしゃぶり 土砂降り

座

まだれ

座

⑩

すわ(る)

座

ザ

すわる 座る・座らない

すわらない 座らない

すわった 座った

ざきょう 座興にすぎません

ざこう 座高たかが高い
ざこつ 座骨しんけいつう神経痛

ざせき 座席
ざぞう 座像りつぞう・立像
ざちょう 一座いちざの座長

ざひょう たてよこ座標じく軸

ざゆう 座右めいの銘

おうざ 王座ぎよくざ・玉座
ぎよくざ 玉座

ぎんざ 町の銀座
くるまざ 車座はなになって話す

こうざ 冬期講座
こうざ 高座のぼるにのぼる
しもざ 下座かみざ・上座

せいざ 正座する

せいざ 星座

ちゅうざ 中座する

とうざ 当座ようの用に

まつざ 末座つらに連なる

れんざ 連座する

裁衣

ころも

裁

12

さば(く)

た(つ)

裁衣

12

サイ

さばく 裁く・裁かない

さばかない 裁かない

さばいた 裁いた

たつ ハサミで布を裁つ

たちばさみ 裁ち鋏バサミ

さいか 裁可くだを下す

さいだん 裁断する

さいてい 裁定する

さいばん 裁判にかける

さいほう 裁縫する

さいりょう 裁量の範囲はんい

かさい 家裁ちさい・地裁こうさい・高裁

けっさい 決裁する

こうさい 高裁ちさい・地裁

ちさい 地裁 = 地方裁判所ちほうさいばんしょ

ちゅうさい 仲裁はいに入る

ていさい 体裁わるが悪い

どくさい 独裁しや者

ようさい 洋裁

わさい 和裁ようさい・洋裁

濟 サイ

濟



す (せ)

濟

サイ

すむ 濟む・濟まない

すまない 濟まない

すんだ 濟んだ

すみませす 濟みませす

すみませせん 濟みませせん

すみませした 濟みませした

さいせい 濟世かいびょういん病院
さいど 衆生しゅうじょう濟度

きゅうさい 救濟する

きょうさい 共濟くみあい組合

けっさい 決濟する

へんさい 借りを返濟する

けいざい 經濟かつどう活動

策

たけかんむり

策

⑫

策

サク

さく 策^ねを練る

さく 策^あが有る

さく 策^なが無い

さくし 策士^{さく}策におぼれる

さくぼう 策謀

さくりゃく 策略^ねを練る

かくさく 画策する

きんさく 金策^{はし}に走りまわる

こくさく 国策^{かいしゃ}会社

しっさく 失策 = エラー

じゅつさく 術策にはまる

せいさく 政策^{あらし}で争う

たいさく 対策^ねをたてる

とくさく それは得策だ

ばんさく 万策^ねつきる

ひさく 秘策^ねを練る

ほうさく 方策^{かんが}を考える

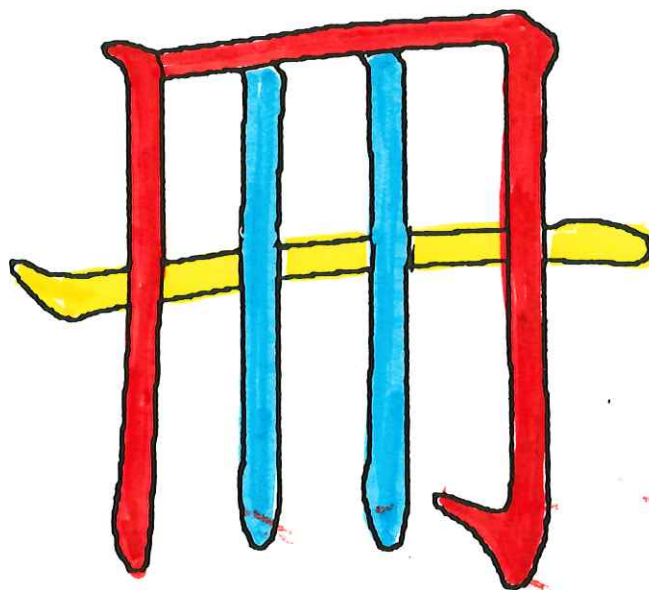
りょうさく 良策^なは無いか



どうがまえ



⑤



サツ・サク

さっし	冊子	≡パ°ソフレツト
さっすう	冊数	・ ^{さっし} 冊子
しょうさつ	小冊	・ ^{たいさつ} 大冊
たいさつ	大冊	・ ^{しょうさつ} 小冊子
ぶんさつ	分冊	・ ^{がっぼん} 合本
べっさつ	別冊	^{ふろく} 付録

蚕

むし

蚕

⑩

かいこ

蚕

サン

6060 蚕

かいこ 蚕から絹きぬをつくる

さんぎょう 蚕業
さんし 蚕糸
さんしつ 蚕室
さんしょく 蚕食される

ようさん 養蚕ぎょう業

至

いたる

至

⑥

いた(る)

至

シ

いたる 至る
いたる 至る ところ

しきゅう 至急 とど ける
しきん 至近 きょり 距離
しげん しかし至言 だ
しごく 至極 とうぜん 当然
しせい 至誠 つう 通ずる

しなん 至難 わざ の 技
しべん 交通至便 こうつう
しほう 我が家の至宝 わが や

げし 夏至・冬至 とうじ
ひっし そうなること 必至

とうじ 冬至・夏至 げし

私

わたし

私

⑦

わたくし

私

シ

わたくし 私ものの物・公おおやけのもの

わたくしごと 私ごと

しあん 私案ですが
 しいい 私営・公営こうえい
 しいき 私益をはかる
 しがく 私学・公立こうりつ
 しけん 私見ですが
 しご 私語する
 しざい 私財を投じて
 ししん 私心なく
 しじ 私事で恐縮です
 が
 しじょう 私情をはさむ
 しじん 私人として・公人こうじん
 しせい 私製ハガキ
 しせつ 私設秘書
 してき 私的・公的こうてき
 してつ 私鉄・国鉄こくてつ
 しどう 私道・公道こうどう
 しひ 私費留学

しふく 私服・制服せいふく
 しふく 私腹を肥やす
 しぶつ 私物化する
 しゆう 私有・公有・国有こうゆう こくゆう
 しょう 私用・公用こうよう
 しよく 私利私欲しり
 しり 私利私慾
 しりつ 私立・公立こうりつ
 こうし 公私混同こんどう
 むし 公平無私こうへい

次女

おんな

次女

⑨

すがた

次女

シ

6063 姿

すがた 姿あらわが現れる

しせい 姿勢よいが良い

すがたえ 姿絵

ゆうし 勇姿みを見せる

すがたみ 姿見きょうだい・鏡台

ようし 容姿たんれい端麗

うしろすがた 後ろ姿

視 みる

視



視

シ

しかい	視界 <small>りょうこう</small> 良好
しかく	視覚・聴覚 <small>ちょうかく</small>
しせん	視線 <small>かん</small> を感ずる
しちょう	TV視聴者 <small>シヤ</small>
してん	視点 <small>か</small> を変える
しや	視野 <small>い</small> に入れる
しりよく	視力 <small>いってんご</small> 1.5
えんし	遠視・近視 <small>きんし</small>
かし	可視 <small>こうせん</small> 光線
きんし	近視・遠視 <small>えんし</small>
けいし	軽視 <small>する</small>
じゃくし	弱視・乱視 <small>らんし</small>
じゅうし	重視 <small>する</small>
じゅくし	熟視 <small>する</small>
せいし	正視 <small>た</small> に耐えない
らんし	乱視・近視・遠視 <small>きんし えんし</small>

詞

ハズビス

詞

⑫

詞

シ

六
ー
V

6065 詞

訓読み無し

かし 歌詞 カード
 がし 賀詞 交換
 さくし 作詞・作曲 さっきょく
 しゅくじ 祝詞 の を述べる
 せいし 誓詞 よ を読む

めいし 名詞・動詞 どうし

けいようし 形容詞

どうし 動詞・名詞 めいし

ふくし 副詞・形容詞 けいようし

けいようどうし 形容動詞

れんたいし 連体詞

じょし 助詞

じょどうし 助動詞

ひんし 八品詞 はち

し 数詞 いち、に、さん

志言

志言

志言

14

志言

志

しじょう
しだい
しめん

誌^{とうろんかい}上討論会
誌^を代はらう
誌^{さっしん}面刷新

ざっし
にっし

雑誌^を読む
日誌^を書く

磁石 いしへん

磁石

⑭

磁石

シ

じかい	磁氣・磁界
じき	磁器・陶器
じき	磁氣異常
じきよく	磁極・磁針
じしゃく	磁石の磁針
じしん	方位磁針
じせい	磁性を帯びる
じば	磁場あらし
じりよく	磁力
せいじ	青磁のツボ
はくじ	白磁・青磁

射 寸

射



い
(る)

射

シ
キ

うつ ピストルを射つ
 うたない 射たない
 うった 射った

うちます 射ちます
 うちません 射ちません
 うちました 射ちました
 うちかた 射ち方^や止め!

しゃげき 射撃^{うでまえ}の腕前
 しゃてい 射程^{きょり}距離
 しゃてき 射的^{じょう}場

しょうしゃ ~を照射^{しょう}する
 そくしゃ 速射^{ほう}砲
 ちゅうしゃ 予防^{よぼう}注射
 ちよくしゃ 直射^{にっこう}日光
 にっしゃ 日射^{びよう}病
 はっしゃ 発射^{たい}台
 ほうしゃ 放射^{のう}能

捨

てへん

捨



す (てる)

捨

シ
キ

すてる 捨てる
すてない 捨てない
すてた 捨てた

すてます 捨てます
すてません 捨てません
すてました 捨てました

きしゃ ご喜捨を
しゅしゃ 取捨せんたく選択

6070

尺

しかばね

尺

④

尺

シヤク

しゃくすん 尺寸も譲れぬ

しゃくど 尺度となる

しゃくはち 尺八を吹く

しゅくしゃく 縮尺・拡大率
ましゃく 間尺に合わない

まきじゃく 卷尺で測る

若

くさくさ

若

⑧

ジャク・ニヤク

若

わか(い)

も(しくは)

わかひ 若い^{ひと}
わかくない 若くない

じゃくねん 若年^{ろうどうしや}
じゃっかん 若干^の

わかさ 若さ^{たも}
わかづくり 若作り^{を保つ}

ろうにやく 老若^{だんじよ}
男女

もしくは 若しくは

わかぎみ 若君^{さま}
様

わかくさ 若草山

わかげ 若氣^の
いたり

わかしゅう 若衆^{すがた}

わかば 若葉^{・青葉}
く

わかみず 若水^{を汲む}

わかめ 若芽^で
が出る

わかもの 若者^{わこうど}
・若人

わこうど 若人^{つど}
の集い

樹

きへん

樹

16

樹

ジュ

じゅえき	樹液をとる
じゅか	樹下・樹上
じゅかい	富士の樹海
じゅじょう	樹上・樹下
じゅひ	樹皮を剥ぐ
じゅひょう	樹氷は美しい
じゅもく	樹木を切る
じゅりつ	樹立する
じゅりん	針葉樹林
じゅりん	広葉樹林
かじゅ	果樹園
しょくじゅ	植樹祭
たいじゅ	寄らば大樹の陰

収 また

収

④

おさ(める)

収

シュウ

おさめる 収める

しゅうえき 収益をあげる

しゅうし 収支とんとん

しゅうしゅう 事態^{じたい}を収拾する

しゅうとく 収得^{ぶつおくりょう}物横領

しゅうにゅう 収入・支出^{ししゅつ}

しゅうのう 収納する

しゅうよう 収容^{しよ}所

しゅうろく テレビ収録

きゅうしゅう 吸収する

げっしゅう 月収^{ねんしゅう}・年収

げんしゅう 減収^{ぞうしゅう}・増収

さしゅう ご査収ください

にっしゅう 日収

ねんしゅう 年収^{げっしゅう}・月収

ばいしゅう 買取する

りょうしゅう 領収書^{シヨ}

宗

うかんむり

宗

⑧

宗

シュウ・ソウ

しゅうきょう 宗教 せんそう 戦争
しゅうそ 宗祖 さいちょう 最澄
しゅうと 宗門の宗徒 しゅうもん
しゅうは 宗派 とを問わない

そうけ ~の宗家
そうしゅ 宗主

かいしゅう キリスト教きょうに改宗

就

だいのまげあし

就

⑫

つ(く)

就

シユウ・ジユ

つく しごと 就く
つかない 仕事に
ついた 就かない
就いた

しゅうしょう 就床 じこく 時刻

しゅうしょく~に 就職する

しゅうにん だいてうりょう 就任 えん 演
ぜつ 説

きよしゅう 去就 あき を明らかに

血 ち
衆

衆

⑫

血 衆

シユウ・シユ

しゅうぎ 衆議いっけつ一決
しゅうじん 衆人かんし監視なかの中

しゅうち 衆知ののところ
しゅうぼう 衆望あつを集める

しゅうもく 衆目いっちの一致ところする所
しゅうろん 衆論いっち一致

しゅうぎいん 衆議院

しゅうぎいん 衆議院議員

しゅうじょう 衆生さいど濟度

かんしゅう スポーツ 観衆

ぐんしゅう 群衆たいしゅう・大衆

こうしゅう 公衆どうとく道德

たいしゅう こくみん国民 大衆

ちゅうしゅう 聴衆

みんしゅう 民衆こえの声

わかしゅう 若衆すがた姿

従

キョウシヨウ

従

10

従

したが(う)

ジュウ・シヨウ

したがう 従う・従わない

したがわない 従わない

したがった 従った

じゅうぎょう 従業員イ

じゅうしゃ しゅじん 主人・従者

じゅうじ ~に従事する

じゅうじゅん 従順いぬ

じゅうぜん 従前どおり

じゅうぞく たこく 他国に従属する

じゅうらい 従来から

しゅじゅう ドンホーテ主従

ふくじゅう 服従しを強いる

いとへん
縦

縦

①6

たて

縦

ジュウ

たて 縦・横よこ

じゅうおう 縦横むじん あば無尽に暴れる

じゅうかん 縦貫だいせつざんする

じゅうそう 大雪山縦走おうたい

じゅうたい 縦隊・横隊

じゅうだん 縦断・横断おうだん

じゅうれつ 縦列・横列おうれつ

そうじゅう 飛行機ひこうきを操縦せいじゆうする

ほうじゅう 放縦せいかつな生活

縮

シユク

縮

⑪

ちぢ (む)

縮

シユク

ちぢむ 縮む・縮ちぢまない

ちぢまない 縮まない

ちぢんだ 縮んだ

ちぢみます 縮みます

ちぢみません 縮みません

ちぢみました 縮みました

ちぢみかた 縮み方

しゅくさつ しんぶん新聞の縮刷版

しゅくしゃ 縮写する

しゅくしゃく 縮尺・かくだいいつ拡大率

しゅくしょう 縮小する

しゅくず 縮図・かくだいいず拡大図

ぐんしゅく 軍縮・ぐんかく軍拡

たんしゅく 短縮のじかんわり時間割

熟 れんが

熟

⑮

う (れる)

熟

ジュク

うれる。 実が 熟れる

じゅくご よじ 四字熟語

じゅくし 熟視する

じゅくたつ 熟達する

じゅくち 熟知する

じゅくどく 熟読する

じゅっこう 熟考する

えんじゅく 円熟の境地 きょうち

そうじゅく 早熟・晩生 ばんせい おくて

はんじゅく 半熟 たまご 卵

みじゅく まだまだ未熟